

新潟焼山

火山活動評価：静穩な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穩に経過しています。

概况

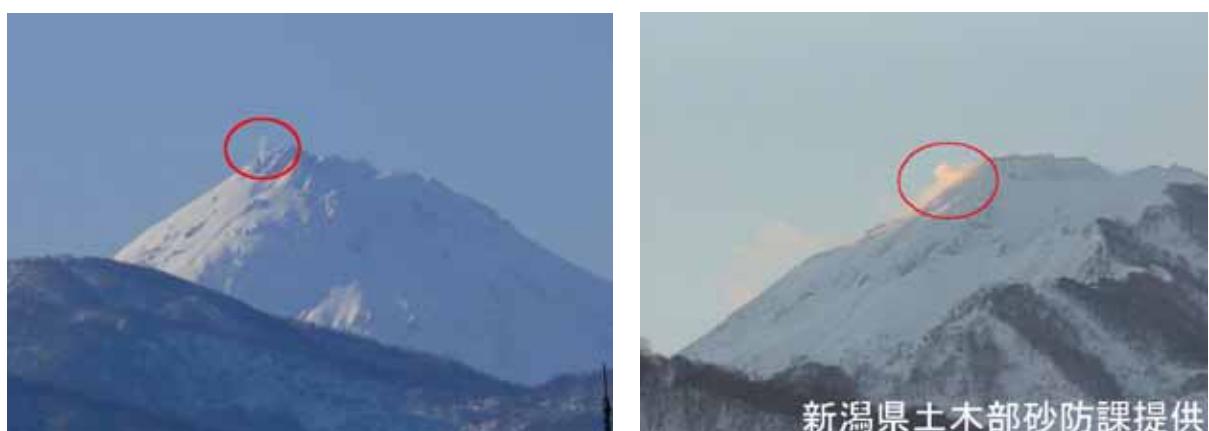
・噴気などの表面現象の状況(図1)

山頂部東側斜面の弱い噴気が時々確認されましたが、特段の異常はありませんでした。

・地震や微動の発生の状況(図2、図3)

新湯焼山付近を震源とする地震は観測されず、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。



1月5日、山頂の北東約36km地点から撮影

図1 新潟焼山 山頂部の状況（赤円内は従来から見られている弱い噴気）

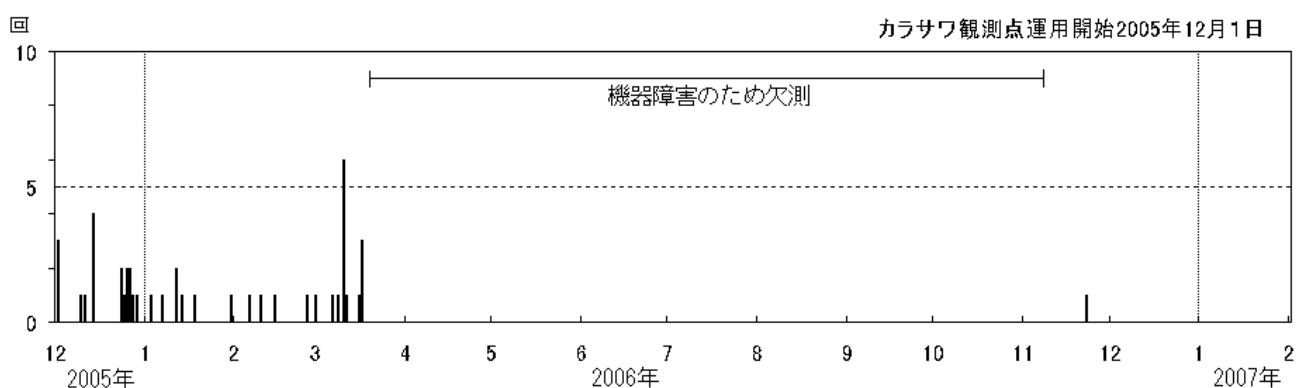


図2 新潟焼山 日別地震回数（2005年12月1日～2007年1月31日）

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ(標高)』を使用したものです(承認番号: 平17 総使、第503号)。

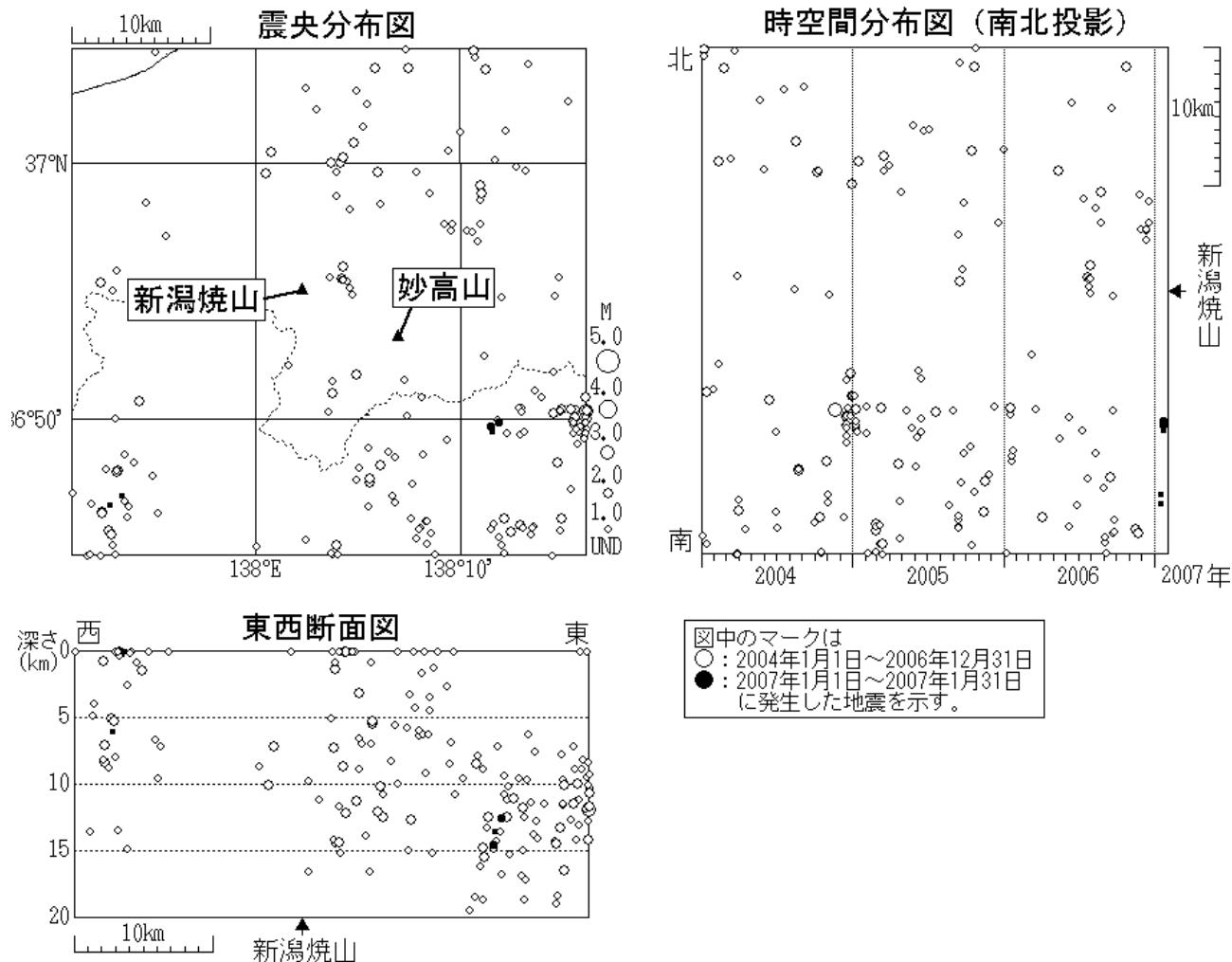


図3 新潟焼山 山体及びその周辺の地震活動（2004年1月1日～2007年1月31日）

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。資料中のMは一部暫定値が含まれてあります、後日変更することがあります。

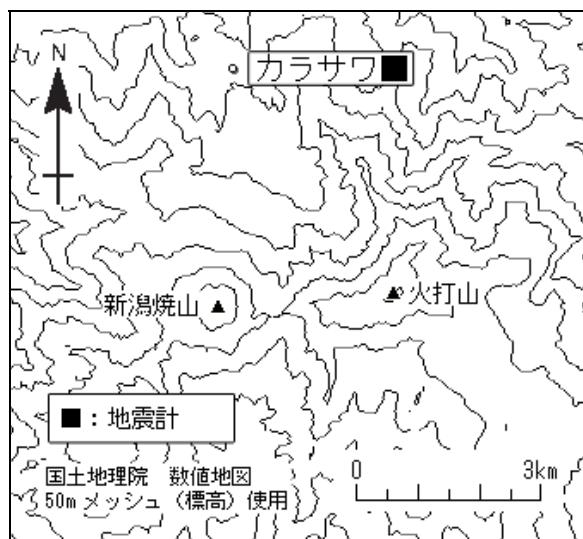


図4 新潟焼山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）